



CAMNETでお楽しみの皆さん、いかがお過ごしですか？「心身健全！」パーソナリティの川崎医科大学 衛生学 大槻剛巳です。

このマガジンのコラムでは、季節折々、大槻が学会その他で出張した際に教室WEB用に写真を沢山撮っているのですが、それを紹介するとともに、季節を感じていただければという欄にしようと思っています。勿論、季節に合わせてってことで、以前に訪れた様子の紹介ですが、それはご容赦を。

さて、新年あけまして2014年です。新年号のマガジン版「心身健全！」です。季節に合わせた紀行文をというが最近のマガジン版「心身健全！」ですが、今回は2013年の冬、1月18日でした。東京に向かった時の様子です。

この日は理事と編集委員長、広報委員を務める日本衛生学会の理事会でした。そして丁度この前日に全国的な雪模様で、東京でも相当に降雪・積雪だった時だったのです。



ほら、これは東京大学の構内です。現在、日本衛生学会は理事長が東京大学の先生なので、理事会は東大の建物の中で開催されます。さすがに路には残雪はなかったのですが、芝生部分などはしっかりと雪が残っていて、まあそれも一興って感じではありますが、でもまあ仕事で来ていると、そして・・・編集委員長として結構、この理事会でも審議してもらおう事項や報告するべき事項が多いので、頭はそっちの方で一杯で雪景色を楽しむほどではなかったのですが・・・。



radio Camnetに続くマガジン版

心身健全！

旅程を振り返ってみると、この写真は近江平野。白一色でどこがどこやらわかりませんが、関ヶ原っていか伊吹山に近づくに連れて、しっかりとした積雪(元々、滋賀・岐阜県境はよく降ります)でした。

そして、富士山！(写真左上)半年後に世界遺産登録される名山はすっぽりと雪化粧でした。丁度、新幹線が駿河灘の清水市辺りからずっとトンネルの中を抜けていって、富士川の鉄橋の直前で出ます。そして、いつも晴れている時には富士川の橋梁越しに富士山を拝むことが出来始めて、手前の愛鷹山の影に入るくらいまでくっきり見えますよね！ 上京する時は岡山6:00発の始発のぞみを使うことが多いのですが、丁度この辺りで朝も明けきってステキな霊山を目にすることが出来るのです(たまに寝過ごしてとても悔やむ時もあります)。



さて、始発のぞみで上京することが多いのですが、実は、会議の開始時間によっては午前中に少し余裕があることがあります。ただ、ぎりぎりに間に合うように岡山に乗って、始発でもどのみち大学で業務をするような時間はないので、それなら東京に着いた後、少し「ちょっと寄り道」@タケミ」、いろんな所を巡ってみます。

で、この日は代々木公園でした。かつて陸軍代々木練兵場だったとのことですが、実は初めて訪れる場所でした。明治神宮とかは参ったこともあったのですが。



それがまあ、まさかの雪景色。でも、それは本当に貴重な情景になったので貴重な時間だったのですが、それでもランニングの人たちやマウンテンバイクの曲乗りをしている若者もいました。それらもまた東京の雪景色として記憶されました。降雪は前日だったので、この日は抜ける冬の青空、歩いてると少しほかほか感じて、そのまま代々木八幡宮へ向かったのですが、その途中、電信柱の看板に「春の小川」って小田急線の踏切の手前に掲げてあって・・・確か暗渠になっていたのでは・・・って思ったら、この線路沿いの道の下に暗渠で、あの童謡「さらさらゆく」春の小川のモデルの川が流れているのですね！



そこから井ノ頭通りを渡って代々木八幡宮へ。この境内社のお稲荷さんは「出世稲荷」なのです。う～ん、僕らの世界での出世って何なのでしょう？ それよりも健康の不都合で苦しむ方の福音になるべき研究成果を出したり、あるいは直接診療したり、そういったことの方が嬉しいような気もするし・・・。既に学内でも2012年度までの4年間は学長補佐を務めたし、まあそれでも人生として出世出来ればいいかな？ ってことで拝んでおきました。



そして、御朱印を頂戴して、そこから今度は東大まで移動になりました。



楽しい、そして貴重な雪景色の東京でした。

そういえば大槻は29～30歳の頃、東京大学医学研究所で国内留学をしていて、八カ月くらい在京だったのですが、その・・・確か3月23日頃、本当にドカ雪(東京の降雪が多いのは春先の頃らしいです・・・。TVの何かで云ってました)で、本当に30～40cm(もっとなか)積もったこともありました。記憶の中では東京は雪国ですか？？

あはは・・・という去年(2013年)の冬の東京の思い出でした。

では、恒例のオリジナル楽曲の歌詞紹介です。

モトーンの コートで
隠し切れない 吐息を抱いて
女たちが 流れる
白い化粧のままで
ドアを強く 閉じたら
そうさ あなたも 仲間に入り
昨日までは ぼくにも
見分けられてはたはずが

It's a lonely Wednesday morning
冬の朝陽が 笑いだす
You must reflect your closeness
寒い肌 寄せ合えば
伝わる愛だった

凍え始めた 季節は
口笛も 吹けない
銀のピアス 残った
テーブル越しの 光も寒い
消し忘れた FM
場違いな ノクターン
理由さえも 告げない
そうさ あなたは 解き放たれて
ハイヒールの 靴音
遠のく街へ消える

It's a lonely Wednesday morning
広いベッドに たおれこむ
You must reflect your closeness
見つめれば 抱き合えば
確かな愛だった

凍え始めた 季節は
口笛も 吹けない
作詞・作曲：大槻剛巳
1985/12/11.

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

♪聴いて！

東北関東大震災オリジナル復興支援ソング
<http://www.youtube.com/watch?v=YfD0Vhdwhy>
<http://www.youtube.com/watch?v=CW75pYorikU>



【プロフィール/大槻 剛巳(おおつき たけみ)】
川崎医科大学衛生学教授
0歳: 京都府福知山市にて生誕
14歳: 京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳: KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳: 倉敷市に転居
15&18歳: NHKあなたのメロディー出演
19歳: YAMAHAポピュラー全国大会(譜面の部)出場
20歳: YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳: 川崎医科大学卒業
以降: 川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年: 米国留学(医学研究)
1996年: 岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年: Camnet GH-F(10-19)パーソナリティ担当
現在に至る